

オーストラリア学会

第32回地域研究会(関西例会)

*会員・非会員ともお申し込みください。参加無料。

日時:2023年5月13日(土)14:00~17:00

会場:追手門学院大学 茨木安威キャンパス図書館内
「ラーニングコモンズ」

*当日は図書館閉館のため西側通用口を使用します。詳細は申込者に連絡します。

*茨木総持寺キャンパスとは場所が異なりますのでご注意ください。

★交通:JR「茨木」駅または阪急「茨木市」駅からスクールバス(13:15 発)をご利用ください。

(追手門学院大学 HP「交通アクセス」参照)。

★申込先:氏名・所属を明記のうえ、5月10日(水)までに下記あてお申し込みください。

南出 眞助 minamide@haruka.otemon.ac.jp

★懇親会:研究会終了後、JR 茨木駅周辺にて懇親会を行います。

予約の都合がありますので、参加希望者は5月6日(土)までにお申し込みください。

<オーストラリアの先住民およびエスニック・マイノリティをめぐる近年の動向>

発表1:「アボリジナル・アートセンターをめぐる一考察

—Darwin Aboriginal Art Fair の事例をもとに— 杉山 暁子(大阪大学・院)

〔要旨〕ATSIC (Aboriginal and Torres Strait Islander Commission、アボリジナルおよびトレス海峡諸島民委員会)廃止 2 年後の 2007 年から、DAAF (Darwin Aboriginal Art Fair) は開催されている。アートセンターが集まって作品を展示即売することによって、政府やディーラーを介さず、売上の 100%を先住民とそのコミュニティに還元している。本発表では、DAAF の事例をもとに、連邦政府による先住民政策としてのアートセンターをめぐる一考察について提示したい。

発表2:「オーストラリアにおけるマイノリティ差別に関する社会言語学的研究の系譜

—新聞記事の批判的談話分析を通じて— 仲西 恭子(園田学園女子大学)

〔要旨〕本発表では、オーストラリアを中心としたエスニック・マイノリティ差別の批判的ディスコース研究の系譜を概説した後、筆者の博士論文から一部抜粋し、2017 年の人種差別禁止法 18C 改正議論に関する記事をディスコースの歴史的分析(DHA)で分析した結果を報告する。マードック系は改正に賛成、フェアファクス系は反対という結果であったが、発表では人種差別問題がどのように捉えられているのかについてより詳細に報告する。

主催:オーストラリア学会 共催:追手門学院大学オーストラリア・アジア研究所